

【連携型中高一貫教育の新しい取組】

金津中学校と金津高校は、16年前より「連携型中高一貫教育」に取組んでいます。

この制度は、中学校3年生から高校3年生までの4年間で、将来、必要とされる学力や人間力を身につけるもので、中学校3学年からの連携クラスへ入級するための選考を中学校2年生の冬に行います。

これまでの連携クラスでは、英語と数学、国語において高校の教員による授業^{*1}や、夏休み等を利用し金津高校にて特別授業をしたりしてきました。

しかしこの間、国の授業時間に関する制度変更等があり、結果として高校の教員による授業が少なくなったり、中学校3年生における学習がマンネリ化したりした結果、生徒自身の学習意欲が低下するなどの課題が見えてきていました。

そこで現3学年の連携クラスから、次に示すように連携教育の抜本的な制度の改善を行いました。

①面接と作文を取りやめ、英語と数学の簡単な適性検査と日頃の学習成績、志望理由書などにより選考する。

②数学の授業はすべての時間（4時間／週）において、高校の教員と中学校の教員の二人で行う。

英語の授業は、週1時間は高校の教員と中学校の教員が、残りの3時間はALTと中学校の教員が行う。

③毎週水曜日の6時間目に特別講座を行う。（水曜日は部活動がないので、他の生徒は5時間で下校する。）

特別講座の内容は、1年を通して課題研究「あわら考幸学：あわらの将来を考える」を行い、論文にまとめる。

④金津高校が使用している学習アプリ「スタディサプリ」に中学校3年生から取組む。

この他にも、福井大学が主催する討論会（年2回）、理数グランプリや英語弁論大会などへ参加したり、英語検定を受験したり、さらには課題研究で作成した論文を、福井県合同課題研究発表会など様々な機会に発表することとしています。このように、中学校3年生における学習内容を充実させ、金津高校に入学する前に確かな学力の定着を図っていきます。

※1 英語は4月から、数学と国語は10月から、それぞれ週に1回、高校の教員による授業が行われていた。

